4月

バアバちゃんの子育て考

吉田緑こども園
理事長　長谷川智子

入園・進級おめでとうございます！

先日までしょうぶ組から“春よ来い、早く来い”と明るい声が聞こえていたのに、もう本当に春。

しょうぶ組さんはもみじ組になりました。

梅園に散歩に行ったり、お歌を歌ったりコロナに負けずみんな元気に進級しました、園舎のまわりは桜の花が、元気な皆さんを祝福して微笑んでいます。期待している子ども達を失望させないようにしっかり見守ってやりたいですネ。

子ども達は生まれた時から、それぞれの取り巻きや環境の中で、その時々に出会った人との縁や出来事の積み重ね、経験に触発されながら育ちます。

子どもにとって人や物の環境こそ大切であり、大人がそんな環境づくりに責任を持たなければと“意”を固くしています。

私は茨木のり子さんの、この詩を私の人生の教訓にしています。

自分の感受性くらい

茨木のり子

ぱさぱさに乾いてゆく心を
ひとのせいにはするな
みずから水やりを怠っておいて

気難しくなってきたのを
友人のせいにはするな
しなやかさを失ったのはどちらなのか

苛立つのを
近親のせいにはするな
なにもかも下手だったのはわたくし

初心消えかかるのを
暮らしのせいにはするな
そもそもが ひよわな志にすぎなかった

駄目なことの一切を
時代のせいにはするな
わずかに光る尊厳の放棄

自分の感受性くらい
自分で守れ
ばかものよ

この詩から私自身を反省することにしています。
それは私の祖母から生き様を叱られている様な気がするからです。

NO.1 幼児期に子どもが身につけるべきこと

時間を守る、一定の時間集中して先生の話を聞ける、他人に迷惑をかけない、などは小学校に入るまでに最低限身につけておくべきです。中でも「しっかりあいさつができる」ことは重要です。

もしも子どもが幼児期に「何でも好き勝手にしていい」と思って育ってしまったら、小学校に上がった後は何かトラブルを起こしても、それからその子に理解させ、直してあげることは本当に時間がかかり容易ではないことです。

4月

げんきにあいさつ　できたらいいな

おはよう
こんにちは

さようなら
またね

「ひだまり」教室

誰でも好きな時　ひだまり教室を訪ねてみてください。

本を読んだり
好きな歌を歌ったりして　心が安らぐのを待つお部屋です。

担当：副園長　高橋

保護者の皆様も大歓迎です。
尚、密を避けたいので予約が必要です。